

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (東海)		商店街（代表者）	・東京オリンピックに向けて雰囲気が高まっている。
		商店街（代表者）	・例年、春休みからゴールデンウィークにかけては人出が増え、売上も伸びる。今年もそのような傾向が現れている。
		百貨店（売場主任）	・20代後半から30代の女性で、5～6万円のカジュアルシューズをプレゼント用に買い求める客が増えている。今まではプレゼント用の購入は少なかったが、週に何足か販売しており、ビジネスよりもカジュアルの方が伸びている。
		百貨店（売場担当）	・セールが始まるため、振り客の大量購入に期待している。
		百貨店（業績管理担当）	・集客が見込まれる物産展を前年より拡大する。衣料品は苦戦が続くが、高額品販売の伸びでカバーする。
		スーパー（商品管理担当）	・天候が安定すれば野菜の価格も落ち着き、客足は伸びる。
		コンビニ（エリア担当）	・季節的に販売伸長が見込まれる。今年は連休が多く、外出等も増えるため販売チャンスが多い。
		コンビニ（エリア担当）	・品ぞろえの根本的な見直しが必要である。物流体制を変更して、売れる時に売れるだけの品ぞろえができるように仕組みを改善する。
		衣料品専門店（店長）	・出掛けるには気持ちの良い季節となり、景気が上向きになるような期待もてる。
		乗用車販売店（経営者）	・悪くなる要素がなく、今後も良くなる見込みである。
		乗用車販売店（総務担当）	・前年から一般的に人手不足が続き、4月の昇給期には賃金が大きく上昇するため、消費には良い影響が期待できる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車種の投入もあり、販売量が増えてきている。
		乗用車販売店（営業担当）	・人の動きが出てきており、この先2～3か月に関しては良い状況が見込まれる。
		乗用車販売店（営業担当）	・3月末に発表した新型車種の効果があり、近隣に他社の新店もオープンするため、しばらくは来客数の増加が続く。
		その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・季節の変化によって着たい服やアクセサリも変わってくるため、新しい物が欲しくなる時期となり購買量が増える。
		一般レストラン（経営者）	・これから夏にかけて、いろいろなイベント等に力を入れて店を活性化していく。
		旅行代理店（従業員）	・しばらく海外を控えて国内で社員旅行を実施していた複数の企業から、海外旅行の問合せがあり、旅行単価の上昇が見込まれる。テロに関する報道が落ち着き、北朝鮮の政策転換とも思われる動きも影響している。
		旅行代理店（従業員）	・春先から夏場の行楽シーズンは、団体旅行が好調に伸びている。米朝関連の不安要素も一息ついて、海外旅行の取扱量も増加してきている。燃油価格の上昇はマイナス要因であるが、申込状況からはそれを感じさせず、景気は良くなってきている。
		通信会社（営業担当）	・学割キャンペーンはまだ続き、残りの春休み期間から新学期にかけて、売行きは更に伸びる。
		通信会社（営業担当）	・先行きも足元以上の好調が見込まれる。
	テーマパーク（職員）	・団体客の予約状況は、国内客は低迷したままであるが、インバウンドは好調である。	
	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・新しい話題をメディアが取り上げたり、広報が増えるのはこれからなので、本格的に業況が上向くのもこれからと考える。	
	美顔美容室（経営者）	・セット販売やキャンペーンが始まるので良くなる。	
	美容室（経営者）	・1～2月は来客数が減少しパーマをかける客も少なかった分、3～5月にはパーマをかける客が増加して忙しくなる。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・気候も良くなり、移動支援の福祉用具のレンタルが活発になる時期となる。付随サービスの追加利用を促進する。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・介護職員の時給上昇や余裕時間の増加等、労働条件の改善が消費拡大に結び付く。	
	商店街（代表者）	・個人客に変化はなく、3年ほど前からは仕事関係の需要も伸びていない。	
	商店街（代表者）	・株価は下がっており、余り良い材料が見当たらない。	
	商店街（代表者）	・家電製品は、白物を中心に販売単価は上がってきているが、逆に、高齢者世帯では高すぎて購入に踏み切れない客も出てきている。販売単価が上がっても販売量が減少すれば、売上は横ばいか若干減少となる。	
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・個人消費が上向くとは考えられず、しばらくは今のままの状況が続く。	
	一般小売店〔土産〕（経営者）	・インバウンドの比率が高く、土産品の販売はやや低調である。	

一般小売店〔生花〕 (経営者)	・母の日を過ぎると需要は一気に減るが、景気としては、今のままの状態が続く。
一般小売店〔薬局〕 (経営者)	・花粉症は足元がピークで、その後の見通しが見えない。地場産業の陶磁器業界は、廃業が続くなど厳しい状態であるが、中国との貿易がある電炉、ダイキャスト、半導体、セラミックス等は忙しく、人手不足で困るほど絶好調である。街中の小売店や飲食店は苦戦している。
一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・4月からは値上がりする物が多く、財布のひもは固い状況が続くが、一部の調子の良い客に支えられて、3か月先も売上等は変わらない。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・政権の不安定さ、海外情勢等、不透明な部分が多い。
一般小売店〔書店〕 (営業担当)	・新年度予算が動き出す時期ではあるが、特に例年以上に期待できる要素はない。
百貨店(企画担当)	・消費者の購買意欲は高まっているが、国際情勢や政治の不安定、為替や株価の変動等のマイナス要因が多く、先行きは不透明である。
百貨店(販売促進担当)	・消費マインドはそれほど変わらない。
百貨店(販売担当)	・売上が良くなりそうな気配を少し感じるが、人手不足の影響で対応が追い付かない。
百貨店(販売担当)	・購入意欲の高まりは感じられるが、大きな変化は望めない。
百貨店(経営企画担当)	・株価の乱高下や、外国人向け販売の規制といった報道もあり、高額品や化粧品ブランドの売上をけん引してきた富裕層やインバウンドへの影響が懸念される。
スーパー(経営者)	・全体的には、大企業の頑張りで息の長い景気が続く。大企業に勤める人は、夏のボーナスもとても良いが、中堅・中小企業で働く人の所得は余り増えない。年金受給者でも、まだまだ働ける人は働いて家計にはプラスとなるが、75歳以上の人は、医療費負担が大きくなる。
スーパー(店長)	・異業種の競合先の出店がまだまだ予想され、競争はどんどん加速する。特にドラッグストアが出店すると激しくなる。
スーパー(店員)	・気候が暖かくなると、鍋や肉等からあっさりとした麺類等、比較的安価な食材に移行し、売上は減少する。
スーパー(店員)	・客が買うのは値段が安かったり単価の低い商品で、購入量も最小限という状況がずっと続いており、なかなか良くなりません。
スーパー(総務担当)	・レンジ加工調理食品の売行きが、著しく増加している。
スーパー(販売促進担当)	・景気が良くなっているという声を聞かない。他社との競合では苦しい展開が続く。
スーパー(販売担当)	・良くなる材料が見つからないため変わらない。
スーパー(販売担当)	・チラシの配布枚数の増加やカテゴリーごとの売価見直しを予定しており、売上、粗利の下げ止まりを図る。
スーパー(企画・経営担当)	・このままでは、上向きにならない。
コンビニ(店長)	・年度替わりで企業の動きが活発になっても、当店が立地する繁華街は余り活況ではなく、景気としては変わらない。
コンビニ(商品開発担当)	・来客数の低迷に改善が見込めない。売上が厳しいため、セールを繰り返すによる単価アップを強いられる。
衣料品専門店(経営者)	・夏物のバーゲンセールに突入するが、客の好みの商品を調達できるかが問題である。メーカーも余分な商品は作らず、売れる商品は、全国どこでも在庫がすぐなくなる。
衣料品専門店(販売企画担当)	・一時的に業況は上がっているが、景気が上向いている感じではない。
衣料品専門店(売場担当)	・足元の流れは一時的なものであって、景気が大きく好転することは考え難い。
家電量販店(店員)	・良い商品は売れる状態が続いており、このまましばらく継続する。
乗用車販売店(営業担当)	・株価は安定的に上昇し、賃金も上昇してきており、客の購買意欲が上がっている。
乗用車販売店(経営者)	・基本的には変化しそうな要因はないが、政府の動向によっては、経済にも影響が出る。
乗用車販売店(従業員)	・先行きは分からないが、小さな波はいつでもあるので警戒感はない。
乗用車販売店(従業員)	・特に大きな材料がないので、景気が良くなる気配は感じない。ここ数か月は大きな変化はない。

乗用車販売店（従業員）	・これから多くの新社会人が誕生し、人の移動も活発になるので、新車購入へ目が向くことに期待したい。最近の新型車両は、つっかり事故を防ぐための安全装備が充実しているので、年配者への販売増加も期待する。
乗用車販売店（販売担当）	・年明けからの車両本体価格の値上げが響いているが、この先には新型車種も出てくるので、大きくは変わらない見込みである。
住関連専門店（営業担当）	・例年同様に年度末の仕事が終わると、5～6月は受注現場が減少する。一般の新築住宅やりフォーム工事も同様であるが、特に公共工事が一段落することが大きい。
一般レストラン（経営者）	・景気が良くなる理由が見つからない。
一般レストラン（経営者）	・景気が良くなる要素が全く見当たらない。
一般レストラン（従業員）	・4月からの様々な値上がりで、支出を抑える客が出てくる。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・年金等の社会基盤を将来的にも安定させた上で思い切った刺激策があれば、少しは良くなる。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・賃金や雇用の良好さ、株価等、消費意欲の維持につながるような報道が浸透しており、客のムードも良い。
観光型ホテル（販売担当）	・新規獲得に向けて前年の受注内容を精査したり過去の履歴を洗い直しているが、予約受注は思うようには伸びず、前年同月比で5%減となっている。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいが見込まれる。
都市型ホテル（経営者）	・不安定要素がたくさんあり、先が読めない。
都市型ホテル（支配人）	・4月の宿泊予約数は良くなっているが、周辺には競争相手が増えており、今と大きくは変わらない。
都市型ホテル（営業担当）	・景気が変わる要素が見当たらない。
都市型ホテル（経理担当）	・前年同期並みの予約状況である。
旅行代理店（経営者）	・気候も良くなり人や物の動きが良くなってきている。
旅行代理店（経営者）	・当面は急激な変化はないが、サッカーワールドカップが始まるとまた停滞する。
旅行代理店（経営者）	・ドライブや気軽なレジャーが増える時期であり、新入学や新学期など新生活を迎えた人も一段落して、夏休みに向けての計画に期待をしている。
タクシー運転手	・米国大統領の発言による株価の動きも激しく、北朝鮮を巡る問題には変化がみられるものの、新たな米国の輸入関税等、様々な問題がどうなるか心配である。
タクシー運転手	・飲食店街は入出が少ない状態が1～2年続いている。良かった頃は、週末の人出も多かったが、今は歓送迎会でも酔っ払っている人を見なくなった。先行きが良くなる明るさは感じられない。
通信会社（営業担当）	・高齢化による解約の申込みが多くなっている。少しでも不要な支出を減らそうという様子が見受けられる。
ゴルフ場（企画担当）	・2か月先の予約数は前年同日比で変わらない。5～6月の梅雨入りまではゴルフシーズンでもあり、大きく変化することはない。景気は変わらなく推移する。
設計事務所（経営者）	・案件の減少傾向に変化はないが、既存施設の耐震補強が実施設計につながり、業務量としては余り変わらない。
住宅販売会社（従業員）	・このままの状況が続く。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要に期待したいが、売り物件の件数が横ばいで難しい。全体的に物件数の増加が必要不可欠である。
商店街（代表者）	・足元は良いが、今までの推移から先行きに過度な期待はできず、売上は減少が見込まれる。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・4月は多くの酒類が値上げされ、飲食店によっては値上げせざるを得ない。アルコール等の注文を控え、水だけを頼む客が一層増える。
百貨店（経理担当）	・米国の貿易政策によって、株価下落、円高や世界経済の停滞が懸念される。
百貨店（計画担当）	・足元の来客数が減少しており、高額品の動きも鈍くなっている。その傾向が続く。
スーパー（商品開発担当）	・来客数を回復する方策がなく、この先も変わらないか、やや悪くなる見込みである。
スーパー（営業企画）	・国内の政治の混乱に加え国際情勢も不安定で、消費心理に対してはマイナスに働く。

スーパー（ブロック長）	・高騰していた野菜の価格は安値に転じたが、今後は、食料品の値上げによる影響が売上に出てくる。4月は人の入れ替わる時期であるが、新規アルバイトが思うように確保できない。
コンビニ（企画担当）	・データ改ざん問題が収束するまでは、調整期間である。生産性が向上するとブルーカラーの仕事は暫時減少し、失業率は上昇する。技術と語学能力、マネジメント能力への教育や規制緩和がないと、貧富の差は拡大し日本の良さや美徳が薄れる。
コンビニ（店長）	・4月から主力商品であるビールの仕入価格が値上がりするため、どこまで販売価格に転嫁できるか悩ましい。大幅に値上げした場合の客離れが心配である。
コンビニ（企画担当）	・コンビニの飽和状態は更に加速し、他の業態との競争も厳しくなっていく。
コンビニ（エリア担当）	・同業他社の出店による影響はもちろんあるが、ドラッグストアの食料品充実による影響が拡大している。対抗したくても人手不足で以前のように総力戦では戦えない。
コンビニ（店長）	・天候が良くても来客数が減少しているのは、ドラッグストアとの競合の影響である。
コンビニ（本部管理担当）	・株価の乱高下や内閣支持率の低下、米国の経済政策等、先の見通しには我が国にとって不安要素が多く、将来の景気への影響を懸念している。
家電量販店（店員）	・政治の動きが与える影響は大きい。また、国際情勢の今後の動き次第では、我が国の経済にも大きな影響が出ないか懸念している。
家電量販店（フランチャイズ経営者）	・株価の下降、政治不信やアベノミクスの終えんも意識され、消費者は高単価な消費を控える。平昌オリンピックが終わり、テレビの売行きも減少している。消費税の引上げが意識される今年後半までは、売上の減少が続く。
乗用車販売店（従業員）	・2～3月は、自社ユーザーの買換えで需要を掘り起こしたため、今後の話が全くなっている。
乗用車販売店（従業員）	・現政権の支持率が下がっている。政権が不安定になると、景気も悪くなるため、先行きも悪くなる。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・政権が安定すれば、経済的にも安定した状況が続く。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・3月は異動等があって販売量が伸びているが、2～3か月先は人の動きも落ち着くので、販売はやや減少する。
一般レストラン（経営者）	・歓送迎会等が一段落して需要が減少する。
スナック（経営者）	・客からは国内外への旅行の話を目にするので、客足は余り期待できない。
観光型ホテル（経営者）	・大河ドラマの効果で5～6月に多くの来客数があった前年と比較すると、今年は反動で伸び悩みが見受けられる。景気の良い悪いよりも一過性の要因で、前年と比較するとやや悪くなるが、前年が良すぎたといえる。
旅行代理店（経営者）	・消費が冷え込むような商品の値上げが続く、製造業では自動化が進んでいる。大手電機メーカーの工場自動化投資や、サービス業でもホテルの省人化が始まっている。人手不足でも有効求人倍率が低下するように、賃金の引上げよりも物価の上昇が進む。
タクシー運転手	・高齢者が頼りにするテレビや新聞の情報には偏りを感じられ、景気にも影響しないか不安である。
通信会社（企画担当）	・国内、海外共に政治面、経済面での不安要素があり、景気も停滞気味になる。
通信会社（サービス担当）	・引越シーズンが終わると、新規申込みも減少する。
パチンコ店（経営者）	・監督官庁の規制強化により、業界全体の収益が減少している。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・株価等の動きが悪くなってきている。
理美容室（経営者）	・物価が上がり、景気が悪くなる。
美容室（経営者）	・足元では季節要因で来客数が増加しているが、2～3か月後は平常に戻り、やや落ち着いてくる。
美容室（経営者）	・消費税の引上げが近づき、金を使わなくなっている。
住宅販売会社（従業員）	・消費税の引上げが今後の起爆剤になるが、政治が不安定なので、人気取りをするなら再延期も考えられ、その場合は回復の動きが鈍る。
住宅販売会社（従業員）	・他社からは、新築住宅の受注が確保できていないとの声がある。

	その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・年度末による好景気が終わり、元請の状況をみても4月からの動きがない。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・年度末に見積依頼が増加しているが、成約率が低くなかなか成果が出ないため見通しが立たない。
x	乗用車販売店（経営者）	・決算月が終了した4月は極端に動きが止まる。6月からのボーナス商戦に期待したい。
x	理容室（経営者）	・景気の良い話はない。ますます財布のひもは固くなる。
x	住宅販売会社（経営者）	・住宅購入者のローン審査が厳しくなっており、購入予定の客が融資を受けられない状況が見込まれる。
企業 動向 関連  (東海)	*	*
	食料品製造業（経営企画担当）	・心なしか最近では周囲で結婚が多い。身近におめでたいことが続くと、景気も上向きとなる。
	電気機械器具製造業（経営者）	・客先に当社のオリジナル商品が浸透し、受注量が更に増加すると期待している。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・新しい仕事が始まるとともに、既存製品も生産効率が向上して製造数が増加していく見通しとなっている。
	建設業（役員）	・当地域では新築物件が相次ぐが、早期完売が多い。当社もマンション、戸建て住宅の両面からの供給を予定している。
	通信業（法人営業担当）	・光コラボ商品による他社からの乗換えも含めて、光回線の受注は前年比140%となっている。国の今年度予算の国会通過、東京オリンピックに向けた様々な需要拡大や春闘での大幅賃金アップ等により、希望的であるが、景気上昇と生活が豊かになることを期待している。
	通信業（総務担当）	・4月に入ると異動や引っ越し等で人の動きが活発になり、必然的に消費は拡大する。物流への影響も大きい。世界的には保護貿易を巡る交渉がこれから活発になりそうだが、国内景気へダイレクトには影響しない。適温経済という表現があるように暑くもなく寒くもない状況である。
	行政書士	・出荷量の多い状況が続く。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・システム開発では慢性的な人手不足感があり、エンジニアを利用する企業においても価格上昇を受け入れる状況となってきている。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・4月のベースアップ、原材料の値上がり分の製品価格への転嫁も順調に推移しており、今後は採算面も改善が期待できる。景気は、足元のやや良い状況が引き続き維持される。
	化学工業（総務秘書）	・中国や米国の動きにより日本経済は影響を受けるが、今のところ景気が悪くなるというほどの状況は見込まれない。
	鉄鋼業（経営者）	・内容の良い案件や見積依頼があるわけでもなく、米国の輸入制限で価格の動きも不安視されており、何とも微妙な景況感である。
	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、手持ちの受注残を消化している状態である。
	金属製品製造業（従業員）	・地元での動きが鈍いが、先行きは東京オリンピックや首都圏の再開発関連で忙しくはなる。良い面と悪い面のどちらが出るか分からない。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・原材料不足による納期の長期化には解決のめどが立たず、原料価格の高騰も続いているため、受注はあっても利益が圧迫されている。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量、販売量共に横ばいが見込まれる。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・米国の保護主義的な動きにより、円高が進行したり、株価の下落が続くと、ビジネスにも影響が出てくる。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・円高の影響が続く。
	電気機械器具製造業（経営者）	・我が国は貿易立国のため海外の影響が非常に大きい。国内の状況よりも、為替や北朝鮮の問題等を重視して考えると、現状維持が見込まれる。
	電気機械器具製造業（総務担当）	・高速通信機器の販売が増えており、ケーブルテレビ関連の案件でも受注が増加しているが、生産部門では部品供給がぎりぎりの状態で、工事部門でも慢性的な人手不足である。こういったマイナス要素が先行きの不安感をもたしている。
	輸送用機械器具製造業（製造担当）	・先行きも変化があるようには思えない。
	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・今の状況からすぐには変わらない。
	輸送業（経営者）	・受注量は増えているが、人手不足は悪化の一途である。労働関連法令遵守のためには、受注を絞らざるを得ない。
	輸送業（従業員）	・やや景気は良くなる見通しだったが、米国の貿易不均衡問題で沈静化し、変わらない。
	輸送業（エリア担当）	・為替や株価の変動が懸案事項である。

	輸送業（エリア担当）	・取引先によると、この年度末は駆け込みの工事発注が多いとのことである。企業は節税対策として修繕費を使い、設備投資には金が回っていないため、今後も景気の底上げはない。
	輸送業（エリア担当）	・燃料の軽油価格が前年同期比で11円近く値上がりしてきて苦しい状況が続いている。運賃値上げも思うようにはいかず、運転手不足も深刻な問題となっている。
	輸送業（エリア担当）	・人手不足は相変わらずで、大幅な時給アップにより人件費が高騰している。
	通信業（法人営業担当）	・受注量を左右するようなインパクトのある商材の投入や販売施策が実施されていない。年度明けという一時的な要因に頼りすぎている。
	金融業（従業員）	・業種によって景気が左右され、2極化が進んでいる。建設業や自動車販売については順調である。
	不動産業（経営者）	・4月は例年同様に晴天が多いという予報もあり、当面は良い状態が続く、売上は前年同月比100%以上の推移が見込まれる。
	不動産業（用地仕入）	・特段のトピックスはない。
	広告代理店（制作担当）	・客からはこれといった引き合いがなく、先の見通しも余り立っていない。
	会計事務所（社会保険労務士）	・好調な客先でも先行きに不安があるのか、内部留保を増やしている。苦戦中の客先は、設備投資や新たな事業への投資も控えめである。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・株価下落の動きは見通しどおりで、この状態はしばらく続くため、企業としては新製品の投入等、新しい取組への努力が必要である。
	食料品製造業（営業担当）	・受注量、販売量共に例年を下回る見込みである。売上の減少は給料やボーナスにも影響する。
	化学工業（営業）	・物流コストは上昇し、トラック便の手配も困難となっている。プラスチック原材料の価格も上昇が見込まれる。
	化学工業（人事担当）	・大きな落ち込みはないが、米国や中国等、外部要因の動向が不透明で、しばらくは良くなる方向には進まない。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・原料は更に値上がりする可能性があるが、製品価格を上げようとする受注が減る恐れがあり、慎重にならざるを得ない。利益率はしばらく低迷する。
	金融業（企画担当）	・個人投資家の含み益が大きくなり一層の投資や消費に向かわない。為替や株価は当面現在のような相場が続くとみられ、景気は回復しない。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告の減少が続いている。
	公認会計士	・中小企業の業績回復は構造的な問題があり、事業承継を含む対策には時間が掛かるため、早期には改善しない。国会で、本来議論すべきテーマが進まない。
	会計事務所（職員）	・昨今は異常気象が頻繁に起き、食品だけでなく生活用品の確保にも影響している。極端な品不足が生じると景気にも悪影響を与える。
	× 輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・米国の輸入関税や中国との貿易摩擦等で大きく円高に振れていることから、輸出が減少していく。
雇用 関連 (東海)		
	人材派遣業（営業担当）	・新卒者の入社により人手不足は若干緩和するが、まだまだ充足できない企業が多いため、劇的には変化しないものの、若干の業況回復が見込まれる。
	職業安定所（職員）	・求人数の動きからみると、景気は上向いている。
	職業安定所（職員）	・景気の失速感がない。
	人材派遣会社（社員）	・人材の流動化が一段落する。
	人材派遣会社（営業担当）	・自動車関連企業では、中長期的なテーマがめじろ押しで、それに押されてアウトソーシング系の活況も当面は続く見込みである。ただし、海外で自動運転車による人身事故や電動車のリチウム電池爆発事故等が発生しており、関連するテーマに及ぼす影響には注視する必要がある。
	人材派遣会社（支店長）	・足元の求人数は若干前年割れとなっており、これまで右肩上がりで増加し続けていたトレンドから変化がみられる。
	人材派遣会社（営業担当）	・良くも悪くも変化する大きな材料はない。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・人材派遣や請負業では、人材の確保数が業況と比例する。この先も採用者数は増加が見込めず、横ばいである。
	職業安定所（職員）	・小規模事業所では、人手不足や売上不振から閉鎖や人員整理が増えている。
職業安定所（職員）	・求人窓口に来所する求人者からは、大きく景気が変動するような話題は聞かない。	

	民間職業紹介機関（支社長）	・対米国貿易の問題は気掛かりである。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・この先6月のボーナス支給ぐらまでは、大手企業の動きが鈍くなる。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・求人数は高水準で推移している。年度末になって求職者も増加しており、高い決定率での着地が見込まれる。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・3月に入って就職活動がスタートしたが、既に中小企業の採用活動は例年並みに前倒しで始まっており、引き続き積極的な雇用意欲が感じられる。
	人材派遣会社（社員）	・3月が良かった分、やや悪くなる。先行きの予約状況も余り良くない。
	人材派遣会社（社員）	・人手不足が長期化すると、生産性が落ち込む企業が増えて、景気にも陰りが出る可能性がある。
	人材派遣会社（営業担当）	・業界では、新年度の開始から数か月は求人が落ち着くため、景況感は下がる。
	職業安定所（職員）	・2月に比べて新規求人数が16.3%減少する一方、新規求職者数が8.9%増加している。
x	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・人手不足を解消する抜本的な対策がみられない。